

平成 23 年度 亀田郷管内土地改良事業計画

1. 県営事業

単位：千円

事業名	地区名	開始年度	施設名	事業量	工事内容	事業費
流域水質保全機能増進事業	亀田郷第2-I期	H20～	海老ヶ瀬排水路	180m	護岸工	148,840
			大湖排水路	1式	矢板打設工	
地盤沈下対策事業	新潟南部5期	H15～	沢海揚水機場	1式	附帯工	80,000
			阿賀幹線用水路	297m	管水路工	433,000
	新潟南部8期	H21～	亀田(上流部)排水路	200m	管水路工	
計						661,840

2. 団体営事業

単位：千円

事業名	地区名	開始年度	施設名	事業量	工事内容	事業費
地域農業水利施設ストックマネジメント事業	亀田郷	H20～	大曲排水路	340m	排水フリーム	19,000
地域水ネットワーク再生事業	亀田郷	H20～		1式	冬期ソフト環境用水ソフト	1,574
戦略作物生産拡大整備事業		H23	丸湯排水路	470m	排水フリーム	516,758
			祖父興野排水路	500m	排水フリーム	
			横越工区用排水路	3,470m	塩ビ管、JISフリーム、底打ち	
			大江山工区用水路	14,110m	塩ビ管	
			亀田工区用排水路	1,990m	塩ビ管、底打ち	
国営造成施設管理体制整備促進事業	阿賀野川左岸	H12～		1式	強化支援	18,700
維持管理適正化事業			前田排水路	113m	排水フリーム	5,000
			舞湯揚水機場	1式	ポンプ、電動機補修	9,900
			中浦排水路	367m	底打ち	5,000
計						575,932

平成23年度 管内事業内容

〔県営事業〕
 県営事業は総額6億6184万円で、流域水質保全機能増進事業(亀田郷第2-I期地区)と地盤沈下対策事業(新潟南部5期・8期地区)を実施します。

流域水質保全機能増進事業は、H12年度から実施してきた亀田郷地区がH22年度で完了し、本年度は平成20年度から継続の亀田郷第2-I期地区において、予算額1億4884万円で海老ヶ瀬排水路、大湖排水路の整備を実施します。

地盤沈下対策事業は、新潟南部7期地区がH22年度で完了し、H23年度は5期地区・8期地区が継続して実施されます。5期地区は、沢海揚水機場の更新に伴う関連整備等の実証調査を実施し、本年度で完了となります。

〔団体営事業〕
 施設の長寿命化をはかる地域農業水利施設ストックマネジメント事業は、H20年度からの継続地区である亀田郷地区で、大曲排水路の整備を1900万円で実施します。

新たな環境用水の導入と利活用について検討する地域水ネットワーク再生事業は、H23年度は予算額1574万円で冬期湛水等の実証調査を実施し、本年度で完了となります。

本年度新規事業として、戸別所得補償制度の本格実施に関連し、主食用以外の戦略作物(加工米、米粉、ソバ、麦、大豆、ナタネなど)の生産拡大に必要な基盤整備を支援する、戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業を、郷内13地区、総額5億16758万円で実施します。本事業はH23年度のみ、単年度で終了予定です。

ほか施設の整備については、施設の規模や緊急度などに応じて、維持管理適正化事業、県単農業農村整備事業、新潟市農業土木支援事業などの補助事業を導入し、施設の保全と機能維持に努めます。

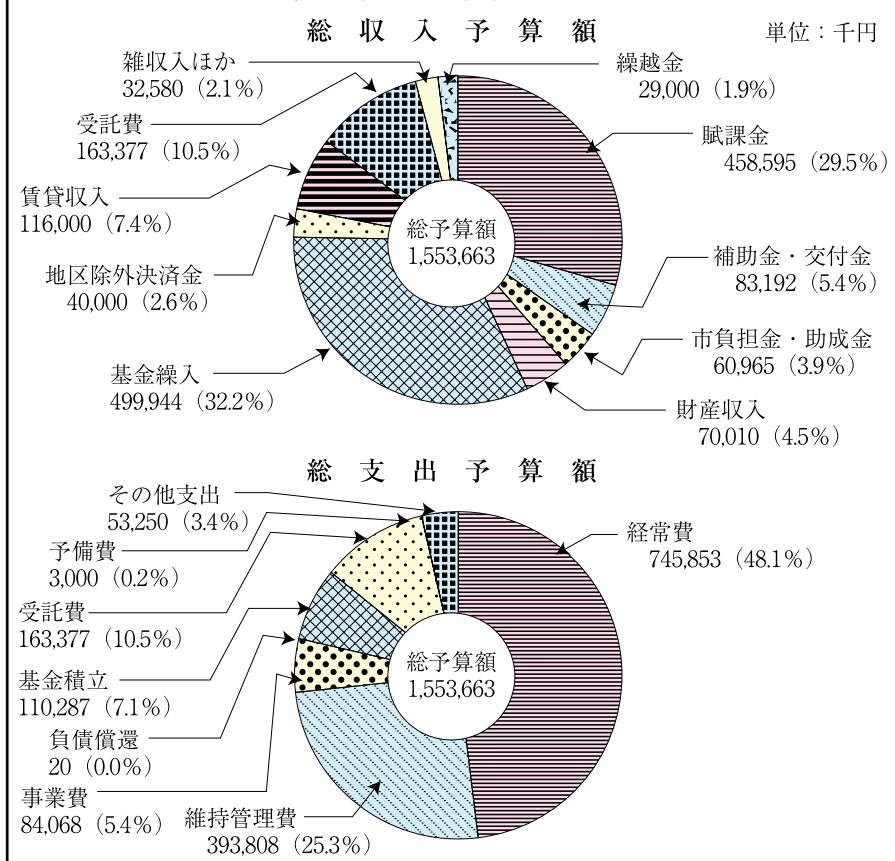
維持管理においては、国営造成施設管理体制整備促進事業(管理体制整備型)阿賀野川左岸地区は1870万円で、水利施設の多面的機能と維持管理機能の強化を図るほか、新潟市の都市排水負担助成金1200万円をはじめ各種助成金を活用します。また、地域での自主的な維持管理を促進するため、農地・水保全管理支払交付金を導入した活動組織の運営と維持管理活動を支援します。

〔その他事業〕
 新潟県より親松排水機場の運転管理65492万円、新潟市より本所蔵岡排水機場の運転管理1035万円を受託するほか、県の鳥屋野湯・栗ノ木川浄化対策事業17335万円、新潟市の環境用水の導水管理に関する業務420万円、県の国営造成施設管理体制整備促進事業の推進活動20万円を受託します。

受託工事では、用排水路の移設補償工事を5件、総額1億5000万円を新潟市から受託します。

平成 23 年度総予算額分析グラフ

単位：千円



平成23年度予算概要

賦課金10a当たり 一万一五〇〇円に据置き

平成23年度の賦課金につきましては、総務部会、理事会の審議を経て、経常費の大幅な見直しと決済金、共通基金、財政調整基金の充当により、10a当たり1万1500円に据え置くことにしました。

また、農地転用に伴う決済金についても、10a当たり65万円に据置きました。

平成23年度一般会計予算額は、13億8449万円(平成22年度・12億8344万円)と前年度比にしますと7.9%増えました。これは主に市道整備による用排水路移設工事の受託費が増えたこと、職員等の定年退職による退職給与金の支給が生じたことによるものです。

また、特別会計(管財

一般会計予算財源分析

費目	支出予算		財源分析 (10aあたり)	
	金額(千円)	割合	10aあたり(円)	賦課金(円)
経常費	720,313	52.0%	18,508	10,342
財産費	27,110	2.0%	697	0
維持管理費	393,808	28.4%	10,119	1,812
(事業)	(293,420)	(21.2%)	(7,539)	
事業費	15,000	1.1%	385	124
県営事業分担金	58,868	4.3%	1,513	0
県営附帯事業	2,000	0.1%	51	0
受託費	163,377	11.8%	4,198	0
負債償還	20	0.0%	0	0
繰出金	4,000	0.3%	102	
小計	1,384,496	100.0%	35,573	12,278
収入	△ 30,230		△ 778	△ 778
計	1,354,266		34,795	11,500

財源分析 (10aあたり)			
(支出予算額を賦課金算出面積で割る)			
全体経費	金額	割合	注
全体経費	35,573円		(A)
財源内訳			
制度財源等			
補助金・交付金	2,139円	6.0%	
負担金・助成金	1,459円	4.1%	
受託金	4,198円	11.8%	
基金繰入			
共通基金	5,028円		
決済金積立	2,114円		
退職給与積立	1,221円		
各区基金	2,900円		
財政調整基金	1,580円		
小計	12,843円	36.1%	
管財繰入			
管財職員給与繰入	470円		
管財維持管理繰入	1,792円		
小計	2,262円	6.4%	
繰越金ほか			
各区賦課	273円		
過年度収入等	121円		
当年度収入	778円		
小計	1,172円	3.3%	
計	24,073円	(B)	
(A)-(B)=	11,500円	32.3%	

*立替金は経常費を含む
 *財産費のうち財産取得費は、経常費。基金積立金は、財産費。

平成 23 年度 10aあたり一般会計・特別会計と国県営事業費に対する財源割合

